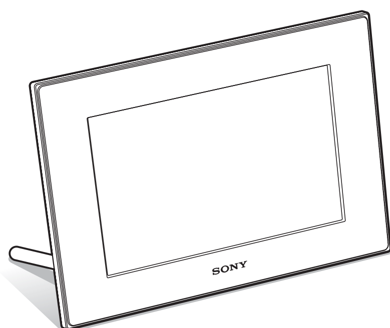
SONY

4-129-235-**02**(1)

デジタルフォト フレーム

DPF-A72/D72



取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



S-Frame



警告 安全のために

➡59～62ページもあわせてお読みください。

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

59 ～ 62 ページの注意事項をよくお読みください。



定期的に点検する

1 年に 1 度は、プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。



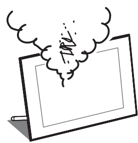
故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体またはリモコンが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。



万一異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら





❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号


火災


感電


注意

行為を禁止する記号


禁止


分解禁止


接触禁止


ぬれ手禁止

行為を指示する記号


指示


プラグをコンセントから抜く

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

AC アダプターは容易に手が届くようなコンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

各種 CD、TV 映像、画像等著作権の対象となっている著作物、その他あなたが撮影、制作した映像以外のものを複製、編集、印刷することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物、編集物、印刷物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製、編集、印刷や、複製物、編集物、印刷物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。また、本機において写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することになりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。なお、実演、興行、展示物の中には撮影を限定している場合がありますのでご注意ください。

記録内容の保証はできません
万一、本製品の不具合により、記録ができなかった場合、および記録内容が破損または消去された場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

バックアップのおすすめ
万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

ご注意

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 液晶画面を太陽に向けたままにしないでください。故障の原因となります。
- 液晶画面は有効画素 99.99% 以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません
- 寒い場所で使うと、画面が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。

商標について

- S-Frame、Cyber-shot、MEMORY STICK、"Memory Stick"、" メモリースティック "、MEMORY STICK、"Memory Stick Duo"、" メモリースティック Duo"、" メモリースティック デュオ "、MEMORY STICK DUO、"MagicGate Memory Stick"、" マジックゲートメモリースティック "、"Memory Stick PRO"、" メモリースティック PRO"、MEMORY STICK PRO、"Memory Stick PRO Duo"、" メモリースティック PRO Duo"、 " メモリースティック PRO デュオ "、MEMORY STICK PRO DUO、"Memory Stick PRO-HG Duo"、" メモリースティック PRO-HG Duo"、MEMORY STICK PRO-HG DUO、"Memory Stick Micro"、 " メモリースティック マイクロ"、MEMORY STICK MICRO、M2、"Memory Stick-ROM"、" メモリースティック - ROM"、MEMORY STICK-ROM、"MagicGate"、" マジックゲート "、MAGICGATE は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国における Apple Inc. の登録商標です。
- コンパクトフラッシュ（CompactFlash）は、米国サンディスク社の商標です。
- xD-Picture Card、xD-Picture Card™ は、富士フイルム（株）の商標です。
- Monotype Imaging Inc. のフォントを搭載しています。
- 本ソフトウェアの一部は、Independent JPEG Group の研究成果を使用しています。
- Libtiff
  Copyright © 1988 - 1997 Sam Leffler
  Copyright © 1991 - 1997 Silicon Graphics, Inc.
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。

目次

はじめに

使ってみよう（基本編）

いろいろな機能を使ってみよう（応用編）

コンピュータを使う

エラーメッセージ一覧

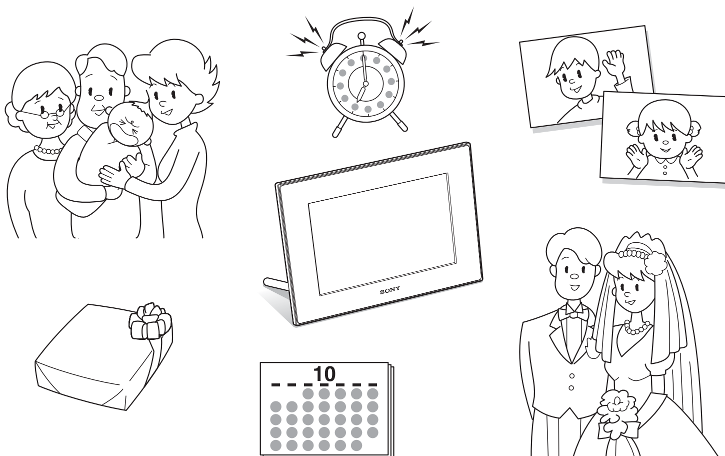
困ったときは

その他

本書のイラスト､画面表示について
特に説明が必要な所を除き、DPF-D72を使用しています。
また、本書で使われているイラストや画面は、実際のものと異なる場合があります。

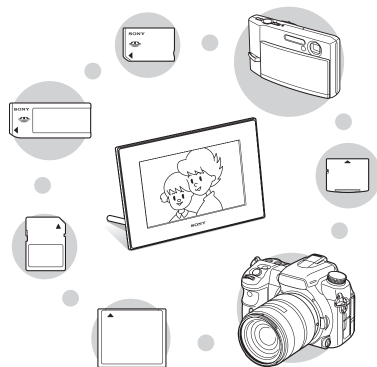
楽しみかたいろいろ、フォトフレーム

ソニーデジタルフォトフレーム DPF-A72/D72 は、デジタルカメラなどで撮影した画像を、コンピューターを使用せずに簡単にディスプレイに表示できるデジタルフォトフレームです。



特長

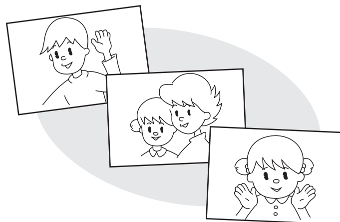
- **様々なメモリーカードに対応**
  " メモリースティック "、コンパクトフラッシュカード（DPF-D72 のみ）、SD メモリーカード、xD-Picture Card など様々なメモリーカードに対応しています。デジタルカメラなどから抜いたメモリーカードをそのまま差し込むだけで、すぐに画像の表示ができます。（→20 ページ）



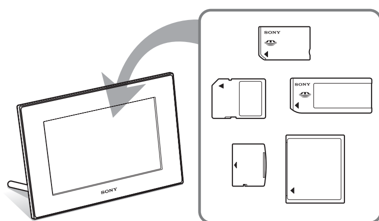
- **様々な表示機能**
  スライドショー、時計・カレンダー、一枚表示、インデックスを色々なスタイルで表示できます。（→21 ページ）



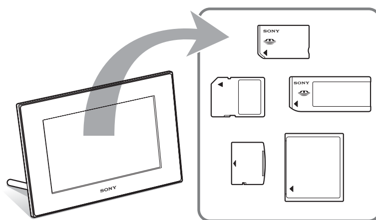
- **多彩なスライドショー**
  まるでアルバムをめくるように、自動的に画像を切り換えて表示します。時計やカレンダーをモチーフとしたスライドショーを含め、複数のスタイルから選べます。また、再生順など、再生条件の設定ができます。（→28 ページ）



- **画像をアルバムに追加**
  アルバムに追加した画像は、内蔵メモリーに保存されます。（→30 ページ）

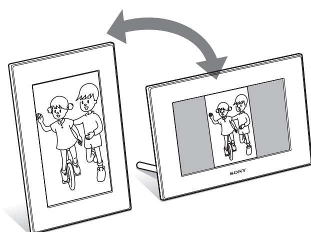


- **画像の書き出し**
  画像の書き出し機能により、アルバム内の画像をメモリーカードに書き出せます。（→32 ページ）

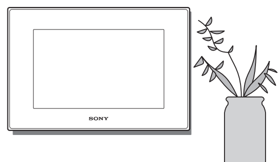


- **検索機能の搭載（DPF-D72 のみ）**
  日付、フォルダー、画像の向き、マークからお好みの画像を検索できます。
  （➡37 ページ）

- **縦置き、横置き自由自在**
  傾斜センサーにより、フレームの置きかた（縦置き、横置き）に連動して、表示される画像が自動的に回転します。
  （➡15 ページ）



- **壁掛け対応**
  本機を壁掛けにしてお楽しみいただけます。（➡15 ページ）



同梱品を確認する

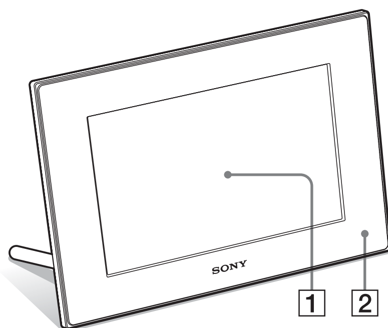
梱包箱から取り出したら、次の同梱品がそろっているか確認してください。

- デジタルフォトフレーム（1 台）
- スタンド（1 本）
- リモコン（1 個）
- AC アダプター（1 個）
- 取扱説明書（本書）（1 部）
- はじめにお読みください（1 部）
- 保証書（1 部）
- カスタマー登録のご案内（1 部）

各部の名前

詳しい説明は、（　）内のページをご覧ください。
イラストは DPF-D72 です。DPF-A72 はボタン、端子の位置、名称は DPF-D72 と同じですが、コンパクトフラッシュカード／マイクロドライブスロットが付いていません。

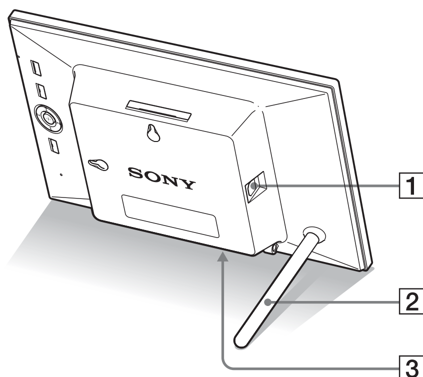
本体前面



1 **液晶画面**

2 **リモコン受光部**
付属のリモコンを受光部に向けて、操作します。

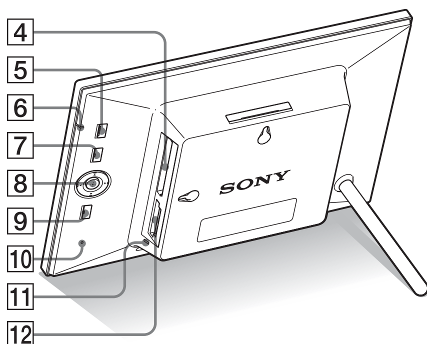
本体背面

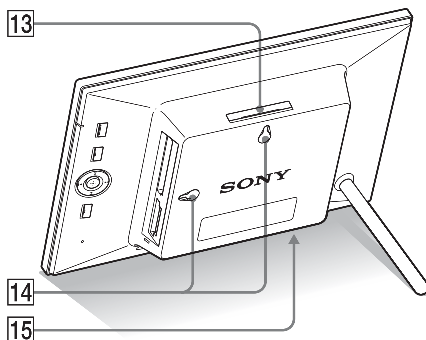


1 USB B 端子（➡44 ページ）
本機をコンピューターにつないでお使いになるときに、USB ケーブルを差し込む端子です。

2 スタンド（➡14 ページ）

3 DC IN 5V 端子（➡16 ページ）
付属の AC アダプターの DC プラグを差し込み、AC アダプターと家庭用電源を接続します。





4 **コンパクトフラッシュカード／マイクロドライブスロット（DPF-D72 のみ）（→20 ページ）**

5 **⏻（電源）ボタン**

6 **STANDBY ランプ**

7 **メニューボタン**
メニューを表示します。
［スライドショー設定］、［回転］、［アルバムに追加］、［時計設定］などの機能を本体から実行できます。

8 **十字（←/→/↓/↑）ボタン、-✦-ボタン**
←/→/↓/↑ ボタンで項目を選び、-✦-ボタンで決定します。

9 **戻るボタン**
前の表示に戻ります。

10 **リセットスイッチ**
電源が入っている状態で何も反応しない場合は , 先端の細い物で押してください。

11 **アクセスランプ**

12 **“ メモリースティック PRO” （スタンダード／デュオ）／ SD メモリーカード／ MMC ／ xD-Picture Card スロット（→20 ページ）**

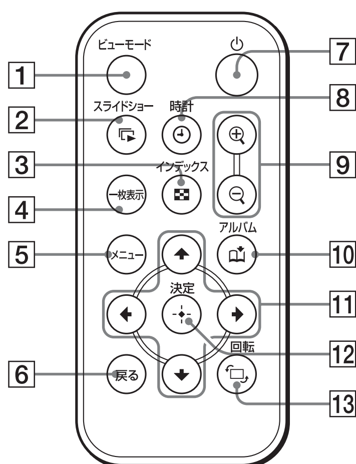
13 **ビューモード（表示モード）ボタン（→21 ページ）**

14 **壁掛け用のネジ穴（→15 ページ）**

15 **スタンド収納場所（→16 ページ）**

次のページにつづく

リモコン



1 ビューモード(表示モード)ボタン
(→21 ページ)

2 スライドショー( )ボタン
(→21 ページ)

3 インデックス( )ボタン
(→21 ページ)

4 一枚表示(一枚表示)ボタン
(→21 ページ)

5 メニューボタン

6 戻るボタン

7 (電源)ボタン

8 時計( )ボタン(→21 ページ)

9 拡大( )／縮小( )ボタン
(→38 ページ)

10 アルバム( )ボタン(→30 ページ)

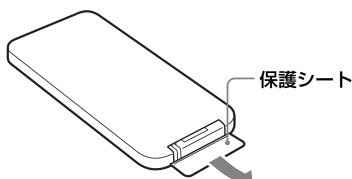
11 方向(←/→/↓/↑)ボタン

12 (決定)ボタン

13 回転( )ボタン(→39 ページ)

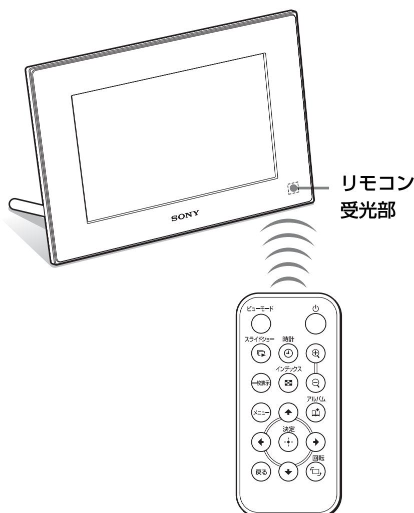
リモコンを準備する

付属のリチウム電池（CR2025）があらかじめリモコンの中に入っています。図のように保護シートを引き抜いてから使用してください。



リモコンを使うときは

リモコンの先端を、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。



ご注意

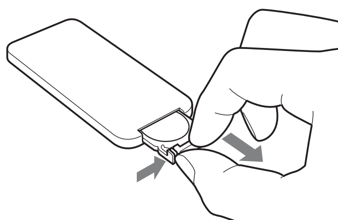
壁にかけてご使用の際､本体上のボタンで操作すると落下の恐れがあります｡必ずリモコンで操作をおこなってください。

リモコンの電池を交換するときは

リモコンが動作しなくなったら、新しい電池（CR2025 リチウム電池）に交換してください。

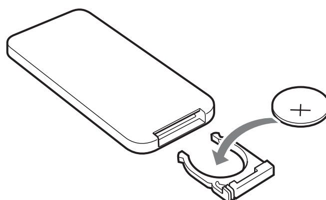
1　電池ホルダーを引き出す。

電池ホルダーのタブを内側に押さえながら、電池ホルダーを引き出します。



2　古い電池を電池ホルダーから取り出し、新しい電池を入れる。

電池の＋が上になるように入れてください。



3　電池ホルダーを元どおりリモコンに挿入する。

ご注意

- 指定以外の電池を使うと、破裂のおそれがあります。
- 使用済みの電池は、自治体の定めた方法で処分してください。
- 高温多湿の場所にリモコンを放置しないでください。
- 電池の交換時などに、リモコン内部に異物が入らないようにしてください。

次のページにつづく

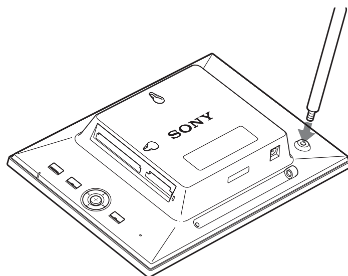
- 電池は正しく使わないと、液漏れや腐敗のおそれがあります。
  – 充電はしないでください。
  – リモコンを長期間使用しないときは、液漏れや腐敗を防ぐため、電池をリモコンから抜いてください。
  – 間違った入れ方をしたり、ショートさせたり、分解、加熱、火中に投入したりすると、破裂や液漏れのおそれがあります。

本書での説明について

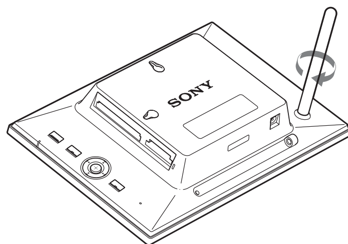
取扱説明書内の操作は、リモコン操作を基本に説明をしています。リモコンと本体ボタンで操作が異なる場合は「ちょっと一言」で説明をしています。

スタンドをセットする

1 本機を固定し、背面のネジ穴に対してまっすぐにスタンドを差し込む。

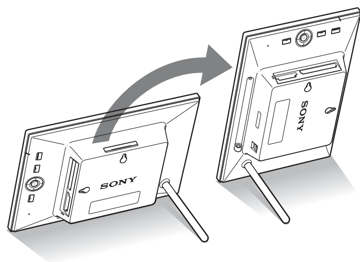


2 スタンドが回らなくなるまでネジ穴にしっかりとねじ込む。

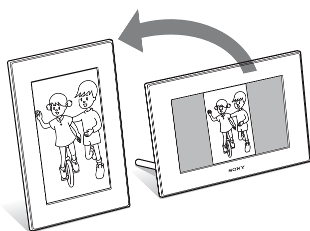


縦または横にする

本機は、スタンド部を動かさずに、本体を回転させることにより、縦横どちらでもセットすることができます。



縦にして、操作ボタンが上にくるようにすると、画像も自動的に縦に表示されます。DPF-D72 は、本体背面の十字ボタンの操作方向も本体の向きに連動します。



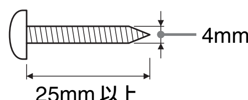
ご注意

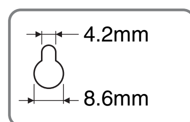
- スタンドが安定しているかどうかご確認ください。中途半端な状態で立てると、倒れる場合があります。
- 縦置き時には、Sony ロゴは点灯しません。
- （設定）タブの［本体設定］の［自動縦横判別］が［OFF］に設定されていると縦横の自動切り換えを実行しません。
- スタンド収納部分に磁石が入っています。キャッシュカードやクレジットカードなど、磁気に影響の受けるものを近くに保管しないでください。TV のブラウン管のそばに置くとTV の画面の色が変わることがあります。
- スタンドを取りはずすときに滑ってまわしにくい場合は、輪ゴムなどを巻くとスタンドを回しやすくなります。

壁にかけて使用するには

下記の手順で本機を壁に取り付けることができます。

1 本機背面のネジ穴に合う市販のネジを用意する。

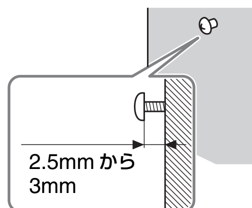




本機背面のネジ穴

2 壁に市販のネジをとめる。

ネジが壁から 2.5mm から 3mm、突き出した状態で壁に固定します。



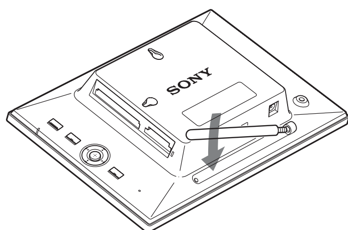
3 本機背面のネジ穴とネジの位置を合わせてから取り付ける。

ご注意

- 壁の材質や強度に合ったネジを使用してください。壁の材質によっては破損する恐れがあります。ネジは柱部分にしっかりと固定してください。
- メモリーカードを差し換えるときは本機をいったん壁から取りはずし、安定した場所でおこなってください。

次のページにつづく

- 本機を壁にかけてご使用する際は、スタンドを取りはずし、本体背面のスタンド収納部に収納してください。



スタンド収納部には磁石が入っているため、スタンドが密着し収納できます。

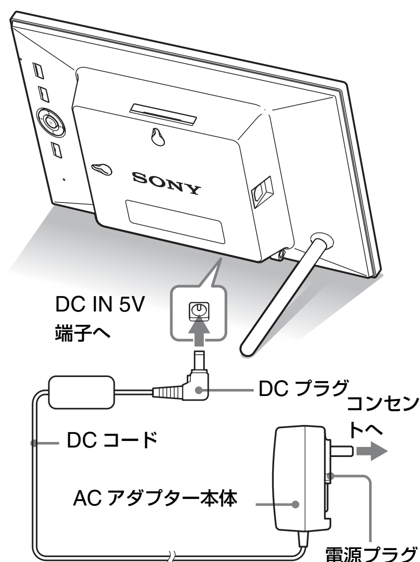
- DC コードを本機に接続してから壁にかけ、その後に AC アダプターをコンセントにつないでください。
- 取り付けの不備、強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。

電源をつなぐ

1 AC アダプターのプラグを本機背面の DC IN 5V 端子につなぐ。

2 AC アダプターをコンセントに差込む。

自動的に電源が入ります。



ご注意

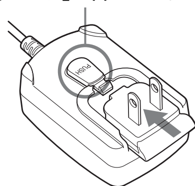
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かないでください。
- AC アダプターは、お手近なコンセントを使用してください。使用中、不具合が生じた時は、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- AC アダプターのプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- 使い終わったら、AC アダプターを本機の DC IN 5V 端子から抜き、AC アダプターをコンセントから取りはずしてください。

電源プラグについて

電源プラグを接続する

電源プラグは AC アダプター本体に接続してお使いください。

電源プラグが AC アダプター本体にしっかり差し込まれると、PUSH 部で「カチッ」と音がします。

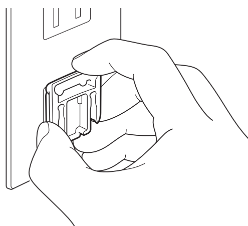


ご注意

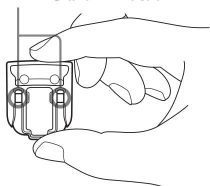
電源プラグは、PUSH 部を押すことで AC アダプター本体から着脱可能な構造になっていますが、お使いになる場合ははずす必要はありません。必ず装着した状態でお使いください。はずれてしまった場合は、上図のように「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

電源プラグをコンセントからはずす

電源プラグがコンセントに残ってしまった場合は、下図のように抜いてください。



電源プラグ裏面の金属部



ご注意

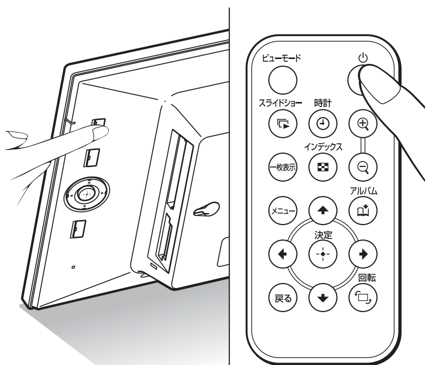
- AC アダプターの DC コードが足に絡まったり、AC アダプター本体に物がぶつかると電源プラグが本体からはずれ、コンセントに残ってしまうことがあります。その場合は工具を使わず、金属部に触れないようにしながら乾いた手で図のように持って抜いてください。
- ACアダプター本体や電源プラグに異常がないか確認の上、「電源プラグを接続する」の手順で「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
- ACアダプター本体や電源プラグに異常があった場合は、すぐにお買い上げ店または　ソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

電源を入れる

前ページの準備で、電源がすでに入っている場合は、ここでの操作は不要です。

電源を入れる

本体またはリモコンの ⏻（電源）ボタンを押します。本体の STANDBY ランプが赤から緑に変わります。本体前面の Sony ロゴが点灯します。



電源を切る

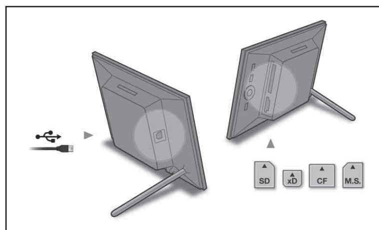
本体またはリモコンの ⏻（電源）ボタンを電源が切れるまで押し続けます。本体の STANDBY ランプが緑から赤に変わります。

ご注意

STANDBY ランプが赤に変わる前に、AC アダプターをコンセントや DC IN 5V 端子から抜かないでください。故障の原因となることがあります。

初期画面について

メモリーカードを接続しないで電源を入れると、下の初期画面が表示されます。



何も操作せずに 10 秒が経過すると、デモモードが表示されます。デモモードで電源以外のボタンを押すと、初期画面に戻ります。
まずはじめに、初期画面でメニューボタンを押して、メニュー画面から日時を設定してください。

現在時刻を設定する

時計・カレンダー表示モードで正確な時刻を表示するために、本機の時計合わせをしておく必要があります。

1 メニューボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

2 ←/→ ボタンで（設定）タブを選ぶ。

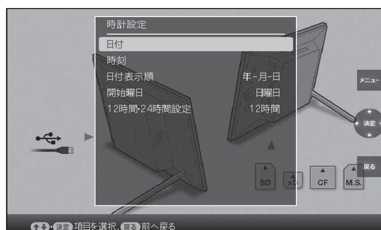
設定メニュー画面が表示されます。

ちょっと一言

メモリーカードが挿入されていたり、時計表示（21 ページ）に設定されていない場合のみ ←/→ ボタンが有効となります。

3 ↓/↑ ボタンで［時計設定］を選び、 ボタンを押す。

時計設定画面が表示されます。



4 日付を合わせる。

① ↓/↑ ボタンで［日付］を選び、 ボタンを押す。

② ←/→ ボタンで年、月、日を選び、↓/↑ ボタンで数値を設定し、 ボタンを押す。

5 時間を合わせる。

① ↓/↑ ボタンで［時刻］を選び、 ボタンを押す。

② ←/→ ボタンで時、分、秒を選び、↓/↑ ボタンで数値を設定し、 ボタンを押す。

6 日付の書式を選ぶ。

① ↓/↑ ボタンで［日付表示順］を選び、 ボタンを押す。

② ↓/↑ ボタンで書式を選び、 ボタンを押す。

- 年 - 月 - 日
- 月 - 日 - 年
- 日 - 月 - 年

7 カレンダーの開始曜日を設定する。

カレンダー表示時にカレンダーの左端の曜日を設定することができます。

① ↓/↑ ボタンで［開始曜日］を選び、 ボタンを押す。

② ↓/↑ ボタンで［日曜日］または［月曜日］を選び、 ボタンを押す。

8 時間表示を選ぶ。

① ↓/↑ ボタンで［12 時間・24 時間表示］を選び、 ボタンを押す。

② ↓/↑ ボタンで時間表示を選び、 ボタンを押す。

9 メニューボタンを押す。

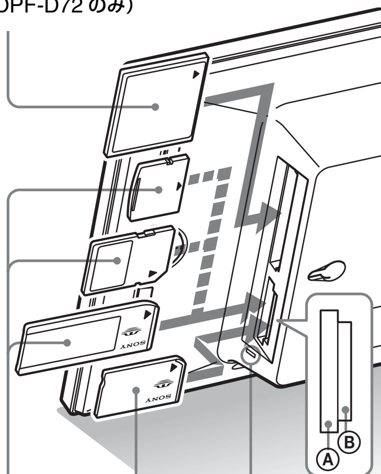
メニュー画面が終了します。

メモリーカードを入れる

本体背面から見て、メモリーカードの表面を手前にして、それぞれのスロットにしっかりと奥まで入れる。

メモリーカードが正しく挿入されると、アクセスランプが点滅します。アクセスランプが点滅しない場合は、挿入向きを確認し、再度メモリーカードを差し込んでください。

本機で使用できるメモリーカードの詳細については、53 ～ 55 ページをご覧ください。



メモリーカードを取り出すには

本機のそれぞれのスロットから、メモリーカードを挿入した方向と逆の方向へ取り出します。

ご注意

- メモリーカードを挿入するとき、無理な力をくわえて挿入をすると、メモリーカードまたは本機を破損する恐れがあります。
- 本機には、“メモリースティック”スタンダード／デュオ対応スロットが搭載されていますので、“メモリースティック”アダプターは不要です。
- “ メモリースティック ”（スタンダード／デュオ）／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card 兼用スロットは、自動的にカードタイプを検出します。
- Ⓐ、Ⓑ スロット、およびコンパクトフラッシュカード／マイクロドライブスロット（DPF-D72 のみ）へ同時にメモリーカードを挿入しないでください。同時に挿入すると、正常に動作しません。
- メモリーカードご使用の際は、53 ページをご覧ください。

表示される画像の優先順位について

メモリーカードを挿入すると、挿入したメモリーカードの画像が自動的に表示されます。

表示するメモリーカードを切り換えるには、▶（再生デバイス選択）メニューから指定します。（38 ページ）

表示される再生デバイスの優先順位は以下のとおりです。

- **メモリーカード → 内蔵メモリー**
- **何も挿入・接続されていない場合**
  内蔵メモリーのアルバムに保存されている画像が表示されます。

ご注意

- 内蔵メモリーに記録した画像は、内蔵メモリーのデバイスの特性上、時間の経過や、読み出し回数の多さが原因でデータ化けなどのエラーが発生することがあります。
- 表示可能なファイルフォーマットに関しては、56 ページをご覧ください。

画面表示を切り換える

1 ビューモードボタンを押す。

ビューモード画面が表示されます。



2 お好みのグループを選ぶ。

グループ	説明
スライドショー	スライドショーのスタイルを表示します。
時計・カレンダー	時計・カレンダーのスタイルを表示します。
一枚表示	一枚表示のスタイルを表示します。
インデックス表示	サムネイルのスタイルを表示します。

次のページにつづく

ちょっと一言

本体から操作する場合は、カーソルを ←/→/↓/↑ ボタンでグループエリアへ移動させてから、←/→ ボタンでグループを選択してください。



3 **←/→/↓/↑ ボタン、またはビューモードボタンでお好みのスタイルを選び、(決定) ボタンを押す。**

ご注意

一定時間操作が行われないと、カーソル上のスタイルが自動で決定されます。

スライドショー表示

グループ	画像	スタイル	説明
スライドショー	A	シングル表示	1つの画面を、次々と表示するスタイルです。
	B	マルチ表示	複数画像を用いて表示するスタイルです。
	C	時計表示	表示された画像と現在の日時が表示されるスタイルです。
	D	カレンダー表示	カレンダーを表示しながら、画像を次々に表示するスタイルです。現在の日時も表示されます。
	E	タイムマシン（DPF-D72のみ）	表示された画像とあわせて、撮影日時情報を表示するスタイルです。現在の日時は表示されません。
	F	ランダム表示	複数のスライドショーと複数のエフェクトをランダムに切り換えながら表示するスタイルです。

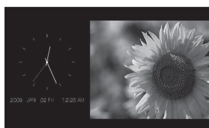
A



B



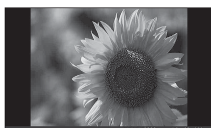
C



D



E



F



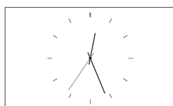
ちょっと一言

- メモリーカードを挿入せず、内蔵メモリーに画像が保存されていない場合は、自動的にデモモードが開始します。画像の入ったメモリーカードを挿入する、または電源以外のいずれかのボタンを押すと、デモモードは終了します。
- スライドショーの画像表示順については28ページをご覧ください。
- スライドショー選択時の切り換え間隔、エフェクト、再生順の指定、カラー効果、画像表示は「スライドショーの設定を変更する」（28ページ）で設定できます。
- スライドショー中、表示したい画像が現れたときに本体の-◆-ボタンを押すと、一枚表示画面になります。
- 本体のビューモードボタンからも操作できます。

時計・カレンダー表示



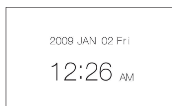
時計 1



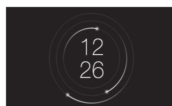
時計 2



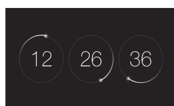
時計 3



時計 4



時計 5



時計 6



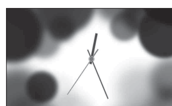
時計 7



時計 8



時計 9



時計 10



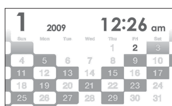
時計 11
（DPF-D72 のみ）



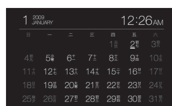
カレンダー1



カレンダー2



カレンダー3



陰暦
カレンダー
（中国語（簡体字）
設定時）
（DPF-D72 のみ）

ご注意

時計･カレンダー表示中は、メニューの （設定）タブのみ操作できます。

ちょっと一言

本体のビューモードボタンからも操作できます。

一枚表示

グループ	画像	スタイル	説明
一枚表示	Ⓐ	標準	画像を切らずにそのまま表示します。←/→ ボタンで表示する画像を切り換えます。
	Ⓑ	全画面	画像を全画面に表示します。←/→ ボタンで表示する画像を切り換えます。
	Ⓒ	標準 （情報表示あり）	画像を切らずに表示した状態で画像番号、ファイル名、撮影年月日などの画像情報を表示します。 ←/→ ボタンで表示する画像を切り換えます。 表示される画像情報については、「情報表示について」（27 ページ）をご覧ください。
	Ⓓ	全画面 （情報表示あり）	画像を全画面に表示した状態で画像番号、ファイル名、撮影年月日などの画像情報を表示します。 ←/→ ボタンで表示する画像を切り換えます。 表示される画像情報については、「情報表示について」（27 ページ）をご覧ください。

Ⓐ



Ⓑ



Ⓒ



Ⓓ



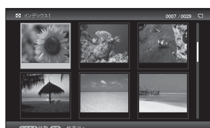
ちょっと一言

- メモリーカードを挿入せず、内蔵メモリーに画像が保存されていない場合は、自動的にデモモードが開始します。画像の入ったメモリーカードを挿入する、または電源以外のいずれかのボタンを押すと、デモモードは終了します。
- 一枚表示画面で表示する画像の大きさを変更するにはビューモードボタンを押し、一枚表示 を選び、←/→ ボタンで標準スタイルと全画面スタイルの設定をします。画像によっては全画面スタイルで表示できないことがあります。
- 本体のビューモードボタンからも操作できます。

インデックス表示

グループ	画像	スタイル	説明
インデックス表示	Ⓐ	インデックス 1	大きいサムネイルの一覧が表示されます。 ←/→/↓/↑ ボタンでカーソルを動かし表示する画像を切り換えます。
	Ⓑ	インデックス 2	サムネイルの一覧が表示されます。 ←/→/↓/↑ ボタンでカーソルを動かし表示する画像を切り換えます。
	Ⓒ	インデックス 3	小さいサムネイルの一覧が表示されます。（DPF-D72 のみ） ←/→/↓/↑ ボタンでカーソルを動かし表示する画像を切り換えます。

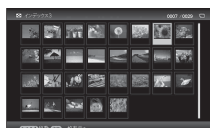
Ⓐ



Ⓑ



Ⓒ

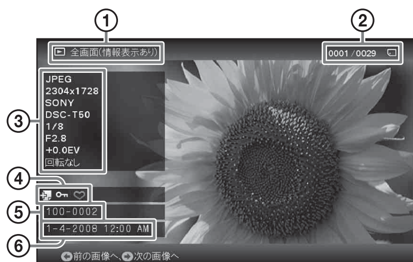


（DPF-D72 のみ）

ちょっと一言

- サムネイルとは、デジタルカメラで撮影した画像ファイルに記録されている、見出し用の小さいサイズの画像のことです。
- メモリーカードを挿入せず、内蔵メモリーに画像が保存されていない場合は、自動的にデモモードが開始します。画像の入ったメモリーカードを挿入する、または電源以外のいずれかのボタンを押すと、デモモードは終了します。
- インデックス表示中、十字ボタンで画像を選び、本体の-◆-ボタンを押すと、一枚表示画面になります。
- 本体のビューモードボタンからも操作できます。

情報表示について



次の情報を表示します。

①表示タイプ
　一枚表示
　全画面表示
　一枚表示（情報表示あり）
　全画面表示（情報表示あり）

②表示画像番号／全画像数
　表示されている画像の入力メディア情報が表示されます。

表示	意味
	内蔵メモリー入力
	“ メモリースティック ” 入力
	コンパクトフラッシュカード入力
	SD メモリーカード入力
	xD-Picture Card 入力

③画像詳細表示
– ファイル形式（JPEG（4:4:4)、JPEG（4:2:2)、JPEG（4:2:0)、BMP、TIFF、RAW）
– 画素数（画像の幅×画像の高さ）
– 画像入力機器のメーカー名
– 画像入力機器のモデル名
– 露出時間 （例：1/8）
– 絞り値（例：F2.8）
– 露出補正値（例：＋ 0.0EV）
– 回転情報

④設定情報

表示	意味
	プロテクト表示
	関連付けファイル表示（E メール用の小さな画像や動画などの関連ファイルがあるときに表示されます。）
	マークを付けた場合に表示されます。

⑤画像番号（フォルダー －ファイル番号）
　DCF 準拠の画像の場合、表示されます。
　非 DCF の画像の場合、ファイル名が表示されます。ただし、コンピューターで表示されるものと異なる場合があります。

⑥撮影年月日・撮影時間

スライドショーをもっと楽しむ

メモリーカードや内蔵メモリーの画像を次々と自動的に表示できます。
電源を切ったのち、再度電源を入れるとスライドショーは続きから再生されます。

1 ビューモードボタンを押す。

ビューモード画面が表示されます。

2 （スライドショー）を選ぶ。

ちょっと一言

本体から操作する場合は、←/→/↓/↑ ボタンでカーソルをグループエリアに移動させてから、←/→ ボタンで （スライドショー）を選択してください。



3 ←/→/↓/↑ ボタンでお好みのスタイルを選び、 ボタンを押す。



詳しくは、「スライドショー表示」（23 ページ）をご覧ください。

スライドショーの設定を変更する

1 メニューボタンを押す。

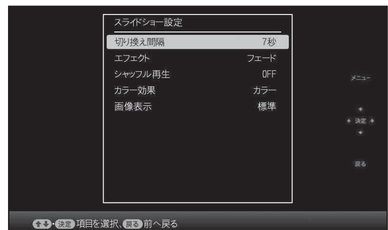
メニューが表示されます。

2 ←/→ ボタンで （設定）タブを選ぶ。

設定メニュー画面が表示されます。

3 ↓/↑ ボタンで［スライドショー設定］を選び、 ボタンを押す。

［スライドショー設定］の設定画面が表示されます。



4 ↓/↑ ボタンで変更したい項目を選び、 ボタンを押す。

設定項目については、次ページの表をご覧ください。

ご注意

- メモリーカードからスライドショーを行う場合は以下にご注意ください。
  - メモリーカードはデバイスの特性上、読み出し回数の多さが原因でデータ化けなどのエラーが発生することがあります。
  - 少ない枚数での長時間のスライドショーはデータエラーの原因になりますのでおやめください。
  - メモリーカード内の画像の定期的なバックアップをお勧めします。
- スライドショー表示中など本体の状態によっては、設定できない項目があります。設定できない項目は灰色で表示され、選択できません。
- スタンバイモードにせずに電源を切ったり、リセットするとスライドショーは最初から始まります。

- 周囲の明るさに比べ、明るすぎる状態の画面を注視すると気分が悪くなる可能性があります。明るさの設定に注意してご使用ください。

ちょっと一言

本体のビューモードボタンからも操作できます。

項目	設定	内容	
スライドショー設定	切り換え間隔	画像を切り換える間隔を 3 秒、7 秒*、20 秒、1 分、5 分、30 分、1 時間、3 時間、12 時間、24 時間の間で設定します。 **ご注意** スライドショーのスタイルや画像サイズ、カラー効果によっては、設定した切り換え間隔で画像が切り換わらないことがあります。	
	エフェクト	センタークロス	前の画像を十字型に開いて、画像を切り換えます。
		ブラインド縦	ブラインドを縦に下ろすように、画像を切り換えます。
		ブラインド横	ブラインドを横に引くように、画像を切り換えます。
		フェード*	2 枚の画像をフェードアウト、フェードインで切り換えます。
		ワイプ	一方向へ前の画像を上から覆うように、画像を切り換えます。
		ランダム	上記の 5 種類のエフェクトをランダムに使用して画像を切り換えます。
	シャッフル再生	ON	画像をランダムに表示します。
		OFF *	本体設定の画像表示順に従って画像を表示します。
	カラー効果	カラー*	画像をカラーで表示します。
		セピア	画像をセピアで表示します。
		モノクロ	画像をモノクロで表示します。
	画像表示	表示サイズを次のいずれかから選びます。 **ご注意** 画像データ自体は変更されません。	
		標準*	画像全体を適切な大きさまで拡大して表示します。（上下左右に黒い帯が表示されることがあります。）
		全画面	画像の縦横比はそのままで、上下左右を一部カットして画面いっぱいに表示します。 **ご注意** スライドショーのスタイルによっては、設定したサイズで表示されないことがあります。

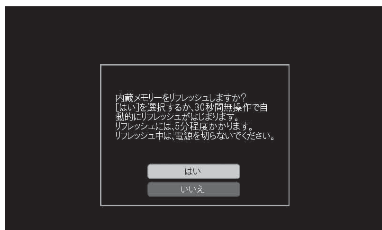
*：工場出荷時の設定

リフレッシュモード

（DPF-D72 のみ）

内蔵メモリーに保存された画像は、デバイスの特性上、時間の経過や読み出し回数の多さが原因でデータ化けなどのエラーが発生することがあります。

本機は、こういったエラーを防ぐため、ご使用状況に応じて自動で内蔵メモリーのリフレッシュを行います。
リフレッシュが必要なタイミングになると、リフレッシュ画面が自動で表示されます。
「はい」を選択、または 30 秒間無操作で自動的に開始します。
「いいえ」を選択すると、再度必要なタイミングでリフレッシュ画面が表示されます。



内蔵メモリーのリフレッシュ中は、本機の電源を切らないでください。故障の原因となることがあります。
リフレッシュには 5 分程度かかる場合があります。

ご注意

- 内蔵メモリー内の画像データは、こまめにバックアップをとってください。
- 10 枚以下の画像数で、スライドショー切り換え間隔が 3 秒での継続したご使用はお控えください。内蔵メモリーの画像を保護できない場合があります。

アルバムに追加する

（内蔵メモリーに追加する）

大切な画像を、内蔵メモリーに保存することによって、電子アルバムとして使用できます。

ちょっと一言

アルバムに保存する画像のサイズを最適化するか、圧縮せずに保存するかをあらかじめ[アルバム保存サイズ]で設定できます（43 ページ）。
[アルバムサイズ]の場合、DPF-D72 では 2,000 枚、DPF-A72 では約 250 枚保存できます。[原画サイズ]の場合、画像のサイズによって保存できる枚数が変わります。

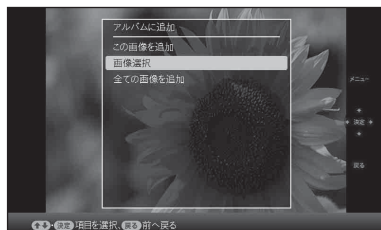
1 メモリーカードの画像を表示した状態で、（アルバム）ボタンを押す。

アルバムに追加メニューが表示されます。

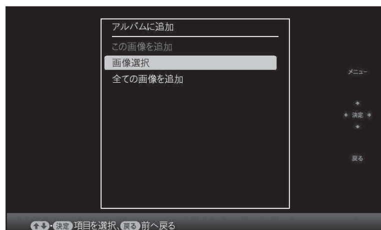
ちょっと一言

本体から操作する場合、メニューボタンを押し、←/→ ボタンで （画像操作）を選択してから、↓/↑ ボタンで[アルバムに追加]を選択してください。

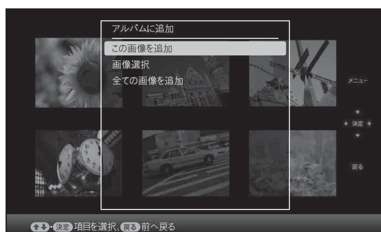
一枚表示の場合



スライドショーの場合



インデックス表示の場合



2 **↓/↑ ボタンで、［この画像を追加］、［画像選択］、または、［全ての画像を追加］を選び、⊕ ボタンを押す。**

［この画像を追加］を選ぶと、現在選択している画像をアルバムに追加します。手順 4 へ進んでください。
（スライドショー選択時は［この画像を追加］は選択できません。）
［画像選択］を選ぶと、画像一覧が表示され、追加したい画像を選択できます。手順 3 へ進んでください。
［全ての画像を追加］を選ぶと、全ての画像に「✔」がついた状態で画像一覧を表示します。手順 4 へ進んでください。

3 **画像一覧から、追加する画像を指定する。**

画像一覧での画像検索ついて
（DPF-D72 のみ）
検索実行中：検索中の条件に当てはまる画像を一覧表示します。
検索解除時：現在表示されている画像の入ったデバイスの画像を一覧表示します。
（検索については、37 ページをご覧ください。）

① ←/→/↓/↑ ボタンでアルバムに追加したい画像を選び、⊕ ボタンを押す。
選択された画像には「✔」がつきます。
複数の画像を同時に追加したい場合は、この操作を繰り返します。

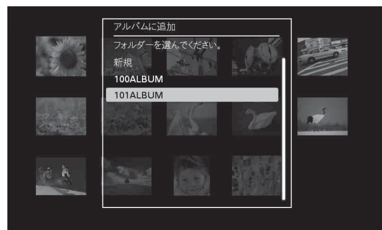


選択を解除する場合は、解除したい画像を選択し ⊕ ボタンを押すと「✔」が消えます。

② メニューボタンを押す。
フォルダー選択画面が表示されます。

4 **↓/↑ ボタンで保存先のフォルダーを選び、⊕ を押す。**

追加の確認画面が表示されます。



ちょっと一言

［新規］を選ぶと、保存先のフォルダーが自動的に作成されます。

次のページにつづく

5 ↓/↑ ボタンで、［はい］を選び、⊕ ボタンを押す。

画像が内蔵メモリーの指定フォルダーに保存されます。

6 確認画面が表示されたら、⊕ ボタンを押す。

ご注意

- 内蔵メモリーの画像はアルバムに追加できません。
- アルバムに追加中は、以下のことをしないでください。本機、メモリーカード、およびデータを破損する場合があります。
  - 電源を切る。
  - メモリーカードを抜く。
  - 他のメモリーカードを挿入する。

ちょっと一言

- リモコンのメニューボタンから操作する場合は、メニューボタンを押し、↓/↑ ボタンで（画像操作）タブから［アルバムに追加］を選び、⊕ ボタンを押します。
- 本体のメニューボタンからも操作できます。
- 画像一覧で拡大/縮小を使ってサムネイルの大きさを切り換えることができます。
- 内蔵メモリーに記録した画像は、内蔵メモリーのデバイスの特性上、時間の経過や、読み出し回数の多さが原因でデータ化けなどのエラーが発生することがありますので、定期的なバックアップをお勧めします。

画像を書き出す

内蔵メモリーに保存されたアルバムの画像を、メモリーカードに書き出せます。

1 内蔵メモリーの画像を表示した状態でメニューボタンを押す。

メニューが表示されます。

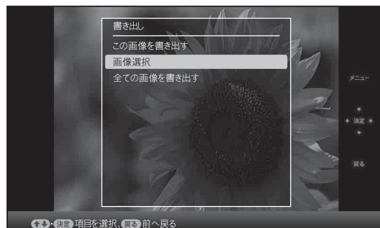
2 ←/→ ボタンで（画像操作）タブを選ぶ。

画像操作メニュー画面が表示されます。

3 ↓/↑ ボタンで［書き出し］を選び、⊕ ボタンを押す。

書き出しメニューが表示されます。

一枚表示の場合



4 ↓/↑ ボタンで、［この画像を書き出す］、［画像選択］または、［すべての画像を書き出す］を選び、⊕ ボタンを押す。

［この画像を書き出す］を選ぶと、現在選択している画像を書き出します。手順 6 へ進んでください。
（スライドショー選択時は［この画像を書き出す］は選択できません。）

［画像選択］を選ぶと、画像一覧が表示され、書き出したい画像を選択できます。手順５へ進んでください。
［全ての画像を書き出す］を選ぶと、全ての画像に「✔」がついた状態で画像一覧を表示します。手順６へ進んでください。

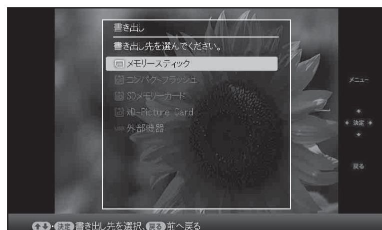
5 画像一覧から、書き出す画像を指定する。

画像一覧での画像検索ついて（DPF-D72 のみ）
検索実行中：検索中の条件に当てはまる画像を一覧表示します。
検索解除時：アルバム内の全画像を一覧表示します。
（検索については、37 ページをご覧ください。）

① ←/→/↓/↑ ボタンで書き出したい画像を選び、⊕ ボタンを押す。
選択された画像には「✔」がつきます。
複数の画像を同時に書き出したい場合は、この操作を繰り返します。
選択を解除する場合は、解除したい画像を選択し ⊕ ボタンを押すと「✔」が消えます。

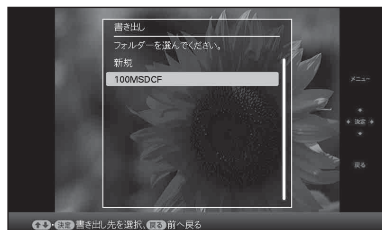
② メニューボタンを押す。
書き出すデバイスを選択する画面が表示されます。

6 ↓/↑ ボタンで、画像を書き出すデバイスを選び、⊕ ボタンを押す。



7 ↓/↑ ボタンで保存先のフォルダーを選び、⊕ ボタンを押す。

書き出しの確認画面が表示されます。



ちょっと一言

［新規］を選ぶと、保存先のフォルダーが自動的に作成されます。

8 ↓/↑ ボタンで［はい］を選び、⊕ ボタンを押す。

画像が書き出されます。

9 確認画面が表示されたら ⊕ ボタンを押す。

画像が指定したデバイスにコピーされます。

ご注意

画像の書き出し中は、以下のことをしないでください。本機、メモリーカード、およびデータを破損する場合があります。
– 電源を切る。
– メモリーカードを抜く。
– 他のメモリーカードを挿入する。

ちょっと一言

- 本体のメニューボタンからも操作できます。
- インデックス表示の場合でも、画像の拡大／縮小ができます。
- 本機に認識されないデバイスは灰色で表示され、選択できません。

画像を削除する

1 画像を表示した状態でメニューボタンを押す。

メニューが表示されます。

2 ←/→ ボタンで (画像操作) タブを選ぶ。

画像操作メニュー画面が表示されます。

3 ↓/↑ ボタンで［削除］を選び、⊕ ボタンを押す。

4 ↓/↑ ボタンで、［この画像を削除］、［画像選択］、［全ての画像を削除］を選び、⊕ ボタンを押す。

［この画像を削除］を選ぶと、現在選択している画像を削除します。手順 6 へ進んでください。

（スライドショー選択時は［この画像を削除］は選択できません。）

［画像選択］を選ぶと、画像一覧が表示され、削除したい画像を選択できます。手順 5 へ進んでください。

［全ての画像を削除］を選ぶと、全ての画像に「✔」がついた状態で画像一覧を表示します。手順 6 へ進んでください。

5 画像一覧から、削除する画像を指定する。

画像一覧での画像検索ついて（DPF-D72 のみ）

検索実行中：検索中の条件に当てはまる画像を一覧表示します。

検索解除時：現在表示されている画像の入ったデバイスの全画像を一覧表示します。

（検索については、37 ページをご覧ください。）

① ←/→/↓/↑ ボタンで削除したい画像を選び、⊕ ボタンを押す。選択された画像には「✔」がつきます。

複数の画像を同時に削除したい場合は、この操作を繰り返します。

選択を解除する場合は、解除したい画像を選択し ⊕ ボタンを押すと「✔」が消えます。

② メニューボタンを押す。

削除の確認画面が表示されます。

6 ↓/↑ ボタンで、［はい］を選び、⊕ ボタンを押す。

画像が削除されます。

7 削除が終わり、確認画面が表示されたら ⊕ ボタンを押す。

内蔵メモリーを初期化するには

1 メニューボタンを押す。

メニューが表示されます。

2 ←/→ ボタンで (設定) タブを選ぶ。

設定メニュー画面が表示されます。

3 ↓/↑ ボタンで［工場出荷状態に戻す］を選び、⊕ ボタンを押す。

4 ↓/↑ ボタンで［内蔵メモリーの初期化］を選び、⊕ ボタンを押す。

初期化の確認画面が表示されます。

5 ↓/↑ ボタンで［はい］を選び、⊕ ボタンを押す。

ご注意

- 画像を削除中は、以下のことをしないでください。本機、メモリーカード、およびデータを破損する場合があります。
  – 電源を切る。
  – メモリーカードを抜く。
  – 他のメモリーカードを挿入する。

- ［プロテクトファイルは削除できません。］というメッセージが表示された場合、その画像はコンピューターで属性を「読み取り専用」に設定されています。本機では削除できないため、コンピューターに接続して、コンピューター上で削除してください。
- 内蔵メモリー初期化のすぐあとでも、内蔵メモリーの総容量と残容量は同じにはなりません。
- 削除を開始すると、途中で中止しても削除した画像を元に戻すことはできません。削除するときは、画像をよく確認してから削除を実行してください。

ちょっと一言

- 本体のメニューボタンからも操作できます。
- インデックス表示の場合でも、画像の拡大、縮小ができます。

画像にマークを付ける（DPF-D72 のみ）

お好みの画像にマークを付けることによりマークを付けた画像のみを表示してスライドショーなどお楽しみいただけます。マークをインデックスや一枚表示から簡単に確認できます。

1 **画像を表示した状態でメニューボタンを押す。**

メニューが表示されます。

2 **←/→ ボタンで（画像操作）タブを選ぶ。**

画像操作メニュー画面が表示されます。

3 **↓/↑ ボタンで、［マーク操作］を選び、⊕ ボタンを押す。**

4 **↓/↑ ボタンでお好みのマークを選び、⊕ ボタンを押す。**



5 **↓/↑ ボタンで、［この画像に付ける］、［画像選択］または、［全ての画像に付ける］を選び、⊕ ボタンを押す。**

［この画像に付ける］を選ぶと、現在選択している画像にマークを付けます。手順 7 へ進んでください。

いろいろな機能を使ってみよう（応用編）

次のページにつづく

（スライドショー選択時は［この画像に付ける］は選択できません。）
［画像選択］を選ぶと、画像一覧が表示され、マークを付ける画像を選択できます。手順 6 へ進んでください。
［全ての画像に付ける］を選ぶと、全ての画像に「✔」がついた状態で画像一覧を表示します。手順 7 へ進んでください。

6 マークを付ける画像を指定する。

画像一覧について
検索実行中：検索中の条件に当てはまる画像を一覧表示します。
検索解除時：現在表示されている画像の入ったデバイスの全画像を一覧表示します。
（検索については、37 ページをご覧ください。）

① ←/→/↓/↑ ボタンでマークを付ける画像を選び、⊕ ボタンを押す。
選択された画像には「✔」がつきます。
複数の画像に同時にマークを付ける場合は、この操作を繰り返します。
選択を解除する場合は、解除したい画像を選択し、⊕ ボタンを押すと「✔」が消えます。
②「✔」の付いた画像にマークが付きます。
（マークの付いている画像の「✔」をはずすと、マークもはずれます。）

7 ↓/↑ ボタンで、［はい］を選び、⊕ ボタンを押す。

選択した画像にマークがつきます。

登録したマークをはずすには

手順 5 で［この画像から外す］または、［全ての画像から外す］を選び、⊕ ボタンを押します。また、「✔」を解除することで、マークをはずすことができます。

- この画像から外す：現在選択されている画像からマークを削除します（スライドショー選択時は選べません。）
- 全ての画像から外す
  現在表示されている画像の入ったデバイスの全画像からマークを削除します。
  検索機能中の場合
  検索中の条件に当てはまる全画像からマークを削除します。

ご注意

マークは内蔵メモリーの画像に設定した場合のみ保存されます。
メモリーカードの画像に設定したマークは、電源を切ったり再生デバイスの切り換えを行なうと解除されます。

ちょっと一言

- 3 種類からマークを選択できます。
- 本体のメニューボタンからも操作できます。
- インデックス表示の場合でも、画像の拡大、縮小ができます。

画像を検索する

（絞り込み）（DPF-D72 のみ）

内蔵メモリーまたはメモリーカードの中の画像を日付、フォルダー、画像の向き、マークなどの条件から絞り込めます。

1 **画像を表示した状態でメニューボタンを押す。**

メニューが表示されます。

2 **←/→ ボタンで （画像操作）タブを選ぶ。**

画像操作メニュー画面が表示されます。

ご注意

時計･カレンダー表示中は、（画像操作）タブを選択することはできません。

3 **↓/↑ ボタンで、［検索（絞り込み）］を選び、 ボタンを押す。**

4 **↓/↑ ボタンで検索条件を選び、 ボタンを押す。**



- 日付選択：日付から画像を絞り込みます。
- フォルダーを指定：フォルダーから画像を絞り込みます
- 画像の縦横を指定：画像の向きから画像を絞り込みます。
- マークを指定：マークの種類から画像を絞り込みます。

5 **↓/↑ ボタンで項目を選び、 ボタンを押す。**

検索を解除するには

検索した画像を表示中にメニューボタンを押して、［絞り込み解除］を選んでください。

検索条件を変更するには

検索した画像を表示中に戻るボタンを押します。

ご注意

- 検索中に電源を切ったり、メモリーカードを抜かないでください。本機やメモリーカードを破損したり、データを破損する場合があります。
- 次の場合は、検索が自動的に解除されます。
  - 再生デバイスを変更したとき
  - メモリーカードの画像を検索し、そのメモリーカードを抜いたとき

ちょっと一言

- 本体のメニューボタンからも操作できます。

再生デバイスを選択する

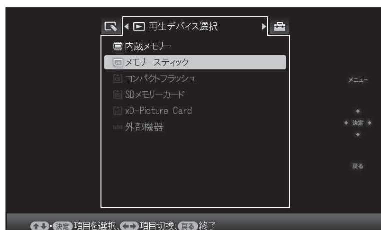
メモリーカードなど、表示するデバイスを指定することができます。

1 **メニューボタンを押す。**

メニューが表示されます。

2 **←/→ ボタンで ▶（再生デバイス選択）タブを選ぶ。**

再生デバイス選択画面が表示されます。



ちょっと一言

選択したいデバイスが挿入されていない場合は、ここで挿入してください。

3 **↓/↑ ボタンで表示したい再生デバイスを選び、⊕ ボタンを押す。**

選択した再生デバイスの画像が表示されます。

ちょっと一言

- 本体のメニューボタンからも操作できます。
- 検索実行中に再生デバイスを変更すると、自動的に検索が解除されます。

画像サイズと位置を調整する

画像を拡大／縮小する

一枚表示中にお好みの画像を拡大 / 縮小できます。

1 **拡大するにはリモコンの⊕（拡大）ボタンを、拡大したものを縮小するには⊖（縮小）ボタンを押す。**

⊕ボタンを押すたびに、拡大率が増加します。最大 5 倍まで拡大できます。拡大した場合、上下左右に移動できます。

トリミング保存について

- 拡大した画像を ←/→/↓/↑ ボタンで動かした状態でメニューボタンを押すと、表示されている画面がトリミングされた状態で保存されます。
- 拡大、縮小した状態でメニューボタンを押すと、新規保存、または上書き保存ができます。
  ↓/↑ ボタンで保存方法を選んでください。
- ［新規保存］を選ぶと元の画像とは別に保存されます。
- ［上書き保存］を選ぶと、元の画像に置き換えて保存されます。［上書き保存］を選んだ場合は、保存の確認画面が表示されます。保存するには、↓/↑ ボタンで［はい］を選び、⊕ ボタンを押します。保存の確認画面が表示されたら、⊕ ボタンを押します。

ご注意

- JPEGファイル（拡張子JPG）以外は、上書き保存ができません。
- 拡大した場合は、画像サイズによっては画質が低下することがあります。
- 本体のボタンからは拡大･縮小はできません。

画像を回転する

リモコンの回転（ ）ボタンを押す。
ボタンを押すたびに、画像が反時計回りに90 度回転します。

本体から操作する

1 一枚画面表示中にメニューボタンを押す。
メニューが表示されます。

2 ←/→ ボタンで （画像操作）タブを選ぶ。
画像操作メニュー画面が表示されます。

3 ↓/↑ ボタンで［回転］を選び、 ボタンを押す。
回転メニューが表示されます。



4 ↓/↑ ボタンで、回転方向を選び、 ボタンを押す。
- ：時計回りに 90 度回転します。
- ：反時計回りに90度回転します。

5 ↓/↑ ボタンで、［OK］を選び、 ボタンを押す。

ご注意
拡大した画像は回転できません。

ちょっと一言
- 内蔵メモリーの場合、画像を回転させた情報は、電源を切ったあとも保持されます。
- インデックス表示の画像も回転できます。

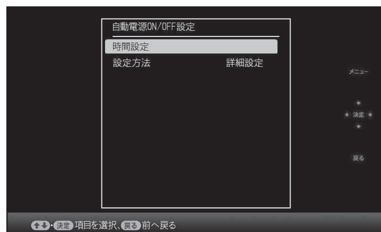
自動電源 ON/OFF の設定を変更する

電源が入っている場合、自動的に本体の電源を ON/OFF できるタイマー機能を設定できます。

1 メニューボタンを押す。
メニューが表示されます。

2 ←/→ ボタンで （設定）タブを選ぶ。
設定メニュー画面が表示されます。

3 ↓/↑ ボタンで設定を［自動電源 ON/OFF 設定］を選び、 ボタンを押す。
［自動電源 ON/OFF 設定］の画面が表示されます。
DPF-A72 をお使いの場合は、シンプル設定での設定になります。手順 5 に進んでください。



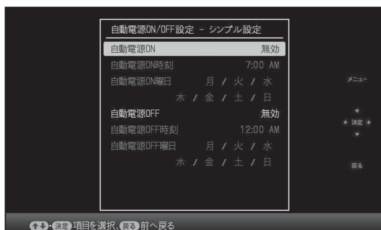
4 ↓/↑ ボタンで［設定方法］を選び ボタンを押し、↓/↑ ボタンで［シンプル設定］か［詳細設定］を選び、 ボタンを押す。（DPF-D72 のみ）
［シンプル設定］：1 分単位で詳細な自動電源 ON/OFF 時間を設定できます。

次のページにつづく

［詳細設定］：曜日別に、1 時間単位で自由に自動電源 ON/OFF 時間を設定できます。

5 **時間設定をおこなう。**

シンプル設定の場合



① ⬇/⬆ ボタンで［自動電源 ON/OFF］を選び、⊕ ボタンを押す。
② ⬇/⬆ ボタンで［有効］を選び、⊕ ボタンを押す。
③［自動電源 ON/OFF 時刻］を設定する。
⬇/⬆ ボタンで数値設定をします。
時計設定を［12 時間］にしている場合、一番右端に AM か PM かが表示されます。
④［自動電源 ON/OFF 曜日］を設定する。
⊕ ボタンでチェックをつけ、機能を使いたい曜日を選びます。カーソルを［確定］へ移動し、⊕ ボタンを押します。

詳細設定の場合（DPF-D72 のみ）



① ⬅/➡/⬇/⬆ ボタンで自動電源 ON/OFF 機能を使用したい時間を選ぶ。
月曜日から日曜日まで 1 時間単位で選択します。
⊕ ボタンを押すと選択した時間帯が青色になります。青色の時間帯は本機の電源が ON となります。青色の時間帯を選んで ⊕ ボタンを押すと、灰色になります。灰色の時間帯に本機の電源が OFF になります。

ちょっと一言

使用中でも自動電源 OFF の時間となると、電源は自動的に OFF となります。また、スタンバイ中に自動電源 ON の時間となると自動的に電源が ON になります。

② ⬅/➡/⬇/⬆ ボタンで［確定］を選ぶ。

設定を変更する

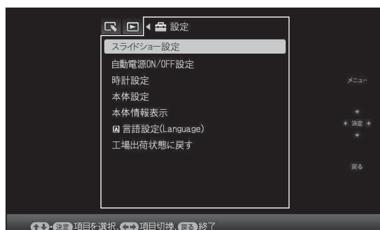
下記の設定を行うことができます。

- スライドショー設定
- 自動電源ON/OFF設定
- 時計設定
- 本体設定（画像表示順、Sony ロゴ点灯など）
- 言語設定
- 工場出荷状態に戻す

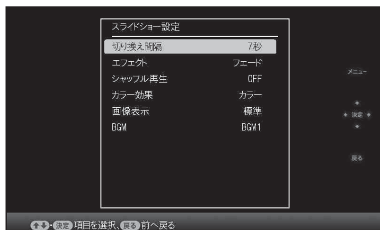
設定手順

1 メニューボタンを押す。
メニューが表示されます。

2 ←/→ ボタンで（設定）タブを選ぶ。
設定メニュー画面が表示されます。



3 ↓/↑ ボタンで設定を変更したい項目を選び、ボタンを押す。
選択した項目の設定画面が表示されます。



（［スライドショー設定］を選んだ場合）

4 ↓/↑ ボタンで変更したい項目を選び、ボタンを押す。
それぞれの項目が設定できるようになります。（42 ページ）

ご注意
スライドショー表示中など本体の状態によっては、設定できない項目があります。設定できない項目はグレーで表示され、選択できません。

5 ↓/↑ ボタンで設定値を選び、ボタンを押す。
↓/↑ ボタン（本体の場合は方向ボタン）を押すたびに、設定値が切り換わります。数値の場合は、↑ ボタンで増え、↓ ボタンで減ります。
ボタンを押すと、設定内容が確定されます。

6 メニューボタンを押す。
メニューが終了します。

設定を工場出荷時に戻すには

1 メニューボタンを押して、←/→/↓/↑ ボタンで（設定）タブから［工場出荷状態に戻す］を選ぶ。

2 ↓/↑ ボタンで［設定の初期化］を選び、ボタンを押す。
時計設定以外の設定値が無効になり、ご購入時の設定に戻ります。

ちょっと一言
本体のメニューボタンからも操作できます。

いろいろな機能を使ってみよう（応用編）

次のページにつづく

設定項目

項目	設定		内容
スライドショー設定	「スライドショーの設定を変更する」（28 ページ）をご覧ください。		
自動電源ON/OFF設定	自動的に本体の電源を ON/OFF できるタイマー機能を設定します。以下から設定できます。（39 ページ）		
	シンプル設定	自動電源ON	有効にすると、自動的に電源を入れる時刻と曜日を設定できます。
		自動電源OFF	有効にすると、自動的に電源を切る時刻と曜日を設定できます。
	詳細設定（DPF-D72 のみ）	確定	自動的に電源を入れたり、切ったりする時刻や曜日を設定した後に押すと、操作を確定し、前画面に戻ります。
		キャンセル	自動的に電源を入れたり、切ったりする時刻や曜日を設定した後に押すと、操作を中止し、前画面に戻ります。
		すべて解除	自動的に電源を入れたり、切ったりする時刻や曜日を設定した後に押すと、選択した時間を全て削除します。
	設定方法（DPF-D72 のみ）	詳細設定*	曜日別に、1 時間単位で自由に自動電源 ON/OFF 時間を設定できます。
		シンプル設定	1 分単位で詳細な自動電源 ON/OFF 時間を設定できます。
時計設定	日付や時刻、カレンダー表示の開始曜日などを設定します。（19 ページ）		
本体設定	画像表示順	画像を表示する順番を設定します。設定した項目がスライドショー設定の再生順に反映されます。	
		画像番号順*	画像番号順に画像を表示します。
		撮影日時順	撮影日時順に画像を表示します。
	自動縦横判別	自動的に画像の縦横を判別する機能を ON * /OFF に設定します。	
	バックライトの明るさ	液晶画面のバックライトの明るさを 1 ～ 10 *のレベルで設定します。	

＊：工場出荷時の設定

項目	設定	内容	
本体設定	アルバム保存サイズ	アルバムサイズ*	画像を圧縮して内蔵メモリーに保存します。より多くの画像を保存できます。ただし、コンピューターなどを使用して大型モニターに表示した場合、元の画像よりも、画質が劣化します。
		原画サイズ	画像を圧縮せずにそのまま内蔵メモリーに保存します。画質の劣化はありませんが、保存できる画像の枚数が少なくなります。
	Sony ロゴ点灯	本機の Sony ロゴの点灯を ON＊/OFF で設定します。	
本体情報表示	バージョン	本機のファームウェアのバージョンが表示されます。	
	内蔵メモリー	総容量	初期状態において内蔵メモリーで利用可能な最大容量が表示されます。
		残容量	現在使用可能な内蔵メモリーの空き容量が表示されます。
言語設定	液晶画面に表示される言語を設定します。 日本語*／英語／フランス語／スペイン語／ドイツ語／イタリア語／ロシア語／中国語（簡体字）／中国語（繁体字）／オランダ語／ポルトガル語 **ご注意** 工場出荷時の言語設定は、お買い上げの地域により異なることがあります。		
工場出荷状態に戻す	内蔵メモリーの初期化	内蔵メモリーを初期化します。 **ご注意** • 初期化を実行すると、アルバムに追加された画像ファイルはすべて消去されますので、ご注意ください。 • コンピューターなど他の機器を使って初期化しないでください。	
	設定の初期化	全ての設定値を工場出荷時の設定に戻します。 ただし、時計設定の日付と時刻の設定は保持されます。	

＊：工場出荷時の設定

コンピューターに接続する

本機とコンピューターをつなぎ、コンピューターから本機の内蔵メモリーの画像を閲覧、コピーしたり、コンピューターの画像を本機にコピーすることができます。

必要なシステム構成

本機と接続してお使いになるには、以下の推奨動作環境を満たしたコンピューターが必要です。

■ Windows

推奨 OS:	Microsoft Windows Vista SP1/ Windows XP SP3 / Windows 2000 Professional SP4
ポート	USB ポート

■ Macintosh

推奨 OS:	Mac OS X（10.4 以降）
ポート	USB ポート

ご注意

- 1 台のコンピューターに複数の USB 接続をしたり、またはハブを使用した場合は、不具合が発生することがあります。
- 同時に接続された他の USB 機器から本機を操作することはできません。
- データ通信中は USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- 推奨環境を満たす、すべてのコンピューターについて動作を保証するものではありません。
- USB 接続については、コンピューターおよび、ソニー製デジタルフォトプリンターとの接続で動作確認を行っています。その他の機器に接続した場合、内蔵メモリーを参照できない場合があります。

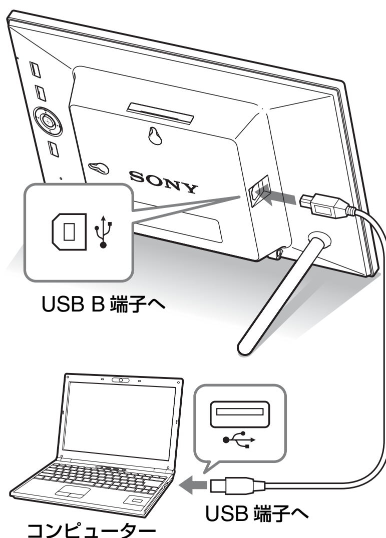
コンピューターと接続して画像をやりとりする

ご注意

Microsoft Windows Vista での接続例です。お使いの OS により、画面表示、操作方法は異なることがあります。

1 AC アダプターを本機につなぎ、AC アダプターをコンセントに差込む。（16 ページ）

2 コンピューターと本機を USB ケーブルで接続する。



ご注意

USB ケーブルは、B-TYPE をお使いください。

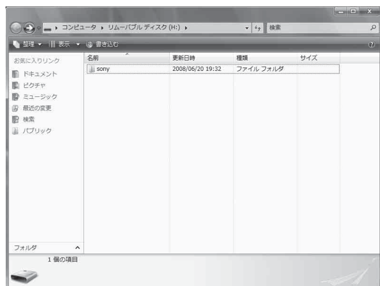
3 本機の電源を入れる。（18 ページ）

4 **コンピューターの画面に［自動再生］画面が表示されたら、［フォルダーを開いてファイルを表示］をクリックする。**

［自動再生］画面が表示されない場合は、「コンピュータ（マイコンピュータ）」からリムーバブルディスクを選び、開いてください。

5 **カーソルをウィンドウの中に移動して右クリックし、［新規作成］－［フォルダ］をクリックする。**

作成したフォルダに名前をつけます。ここでは仮に「sony」としています。



6 **作成した「sony」フォルダーを開く。**

7 **コピーしたい画像ファイルが保存されているフォルダーを開き、ドラッグ・アンド・ドロップで「sony」フォルダーにファイルをコピーする。**

ご注意

- コンピューターから画像を保存するときは、コンピューター上で内蔵メモリーにフォルダーを作って、そのフォルダーに保存してください。フォルダーを作成せずに保存できる画像ファイル数は、最大512枚までです。さらに、ファイル名の長さや文字の種類によって、保存できる枚数が減少する場合があります。
- コンピューター上で画像ファイルを編集または保存すると、撮影日時の情報が変更されたり失われる場合があり、インデックス表示などが撮影日時の順番で表示されないことがあります。
- コンピューター内の画像ファイルを、本機の内蔵メモリーに保存する場合、画像ファイルは圧縮されずに保存されます。そのため、本機の内蔵メモリーに保存できる画像の枚数が少なくなる場合があります。
- コンピューター上で作製、加工した画像ファイルは、本機では表示できない場合があります。また、コンピューター上で「読み取り専用」属性に設定されている画像ファイルは、本機では削除できません。保存する前に属性を変更してください。

コンピューターとの接続を切断する

以下の手順でコンピューターとの接続を切断してからUSBケーブルを抜いたり、本機の電源を切ってください。

1 **タスクトレイの（切断）をダブルクリックする。**

2 **（USB大容量記憶装置デバイス）→［停止］をクリックする。**

3 **取りはずすドライブを確認して、［OK］をクリックする。**

エラーメッセージが表示されたら

本機の液晶画面に次のようなエラーメッセージが表示されることがあります。以下に従って対処してください。

エラーメッセージ	意味／処理
メモリースティック／コンパクトフラッシュカード／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card がありません。	• メモリーカードがそれぞれのスロットに入っていません。メモリーカードをそれぞれのスロットに入れてください。（→20 ページ）
非対応メモリースティック／コンパクトフラッシュカード／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card が挿入されています。	• 非対応のメモリーカードが挿入されています。本機に対応しているメモリーカードをお使いください。
画像がありません。	• メモリーカードに本機で表示できる画像ファイルがありません。本機で表示できる画像ファイルの入ったメモリーカードをお使いください。
プロテクトファイルは削除できません。	• プロテクトファイルを削除するには、お使いのデジタルカメラやコンピューターでプロテクト設定を解除してください。
プロテクトされています。プロテクトを解除して、もう 1 度実行してください。	• メモリーカードが書き込み禁止になっています。誤消去防止スイッチを解除してください。（→54 ページ）
メモリースティック／コンパクトフラッシュカード／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card ／内蔵メモリーが容量不足です。	• メモリーカードまたは内蔵メモリーの容量が一杯のため、追加保存できません。画像を削除するか、容量のあるメモリーカードをお使いください。
メモリースティック／コンパクトフラッシュカード／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card ／内蔵メモリーにエラーがあります。	• **メモリーカードの場合** 何らかのエラーが発生しています。メモリーカードが正しく挿入されているか確認してください。何度もこのエラーが表示される場合は、本機以外の機器でもメモリーカードの状態をご確認ください。 • **内蔵メモリーの場合** 内蔵メモリーは初期化を行なってください。 **ご注意** 初期化を実行すると、アルバムに追加された画像ファイルはすべて消去されますので、ご注意ください。
メモリースティック／コンパクトフラッシュカード／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card ／内蔵メモリーへの書き込みエラーです。	
読み出し専用のメモリースティックです。	• 読み出し専用の“メモリースティック”が挿入されています。書き出しをおこなうには、書き込みのできる“メモリースティック”を挿入してください。

エラーメッセージ	意味／処理
メモリースティックは保護されています。	• 保護されている "メモリースティック" が挿入されています。画像の編集、保存を行う場合は、お手持ちの機器で保護を解除してください。
サポートしていないフォーマットです。	• メモリーカードの場合は、ご使用のデジタルカメラなどでフォーマットを行ってからご使用ください。 • 内蔵メモリーの場合は、本機で初期化してください。 **ご注意** 初期化すると中のファイルはすべて削除されます。
この画像を開くことができません。	• 本機でサポートしていないフォーマットの画像ファイルは、本機では表示したり開くことができません。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう１度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

電源

症状	チェック項目	対処方法
電源が入らない。	• 電源プラグは正しく差し込んでありますか？	→ 正しく接続してください。

画像を表示する

「電源は入っているが画像が表示されない。」または、「操作画面の設定ができない。」こんな時は以下のチェック項目を確認してください。

症状	チェック項目	対処方法
画面に画像が表示されない。	• メモリーカードは正しく接続されていますか？	→ 正しく接続してください。（➡20、62 ページ）
	• メモリーカードにはデジタルカメラなどで保存した画像が入っていますか？	→ 画像の入っているメモリーカードを入れてください。 → 表示可能なファイルフォーマットを確認してください。（➡56 ページ）
	• ファイルフォーマットはDCFに準拠していますか？	→ DCF に準拠していないファイルはコンピューターで表示できても、本機では表示できない場合があります。
撮影日時順に表示されない。	• コンピューターから保存した画像ではありませんか？ • コンピューターで編集した画像ではありませんか？	→ コンピューター上で編集または保存すると、ファイルの撮影日時の情報が変更されたり、失われたりする可能性があります。
一部の画像が表示されない。	• インデックス表示で画像が表示されていますか？	→ インデックス表示で画像が表示されているのに一枚表示できない場合は、サムネイルと呼ばれる表示用データは問題ありませんが、1 枚表示させるための画像データが壊れている可能性があります。 → DCF に準拠していないファイルはコンピューターで表示できても、本機では表示できない場合があります。

症状	チェック項目	対処方法
一部の画像が表示されない。	• インデックス表示で、下のマークが表示されていますか？ • コンピューターのアプリケーションで作成した画像ではありませんか？	→ 左のマークが表示されている場合は、コンピューターで作成した JPEG ファイルなど、本機が対応していない画像ファイルか、対応している画像ファイルでも、サムネイルと呼ばれている表示用の画像データ部分がない画像ファイルです。このマークを選択し、ボタンを押して一画面表示にしても、左のマークが表示される場合は本機で対応できない画像ファイルのため、表示はできません。
	• インデックス表示で、下のマークが表示されていますか？	→ 左のマークが表示されている場合は、本機が対応している画像ファイルですが、サムネイルと呼ばれている表示用の画像データが開けないか、または本画像が開けません。このマークを選択し、ボタンを押して一画面表示にしても、左のマークが表示される場合は表示はできません。
	• メモリーカード内の画像枚数が 4,999 枚を超えていませんか？	→ 本機で再生、保存、削除など、扱える画像ファイル数は最大で 4,999 枚です。
	• コンピューターなどでファイル名を変更しましたか？	→ コンピューターでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機で画像が表示できない場合があります。
	• メモリーカード内に 5 階層を超えるフォルダーがありませんか？	→ 5 階層を超えるフォルダー内にある画像データは、本機では表示できません。
ファイル名が正しく表示されない。	• コンピューターなどでファイル名を変更しましたか？	→ コンピューターでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機でファイル名が正しく表示されない場合があります。

次のページにつづく

画像を保存、削除する

症状	チェック項目	対処方法
保存できない。	• メモリーカードが書き込み禁止になっていませんか？	➔ 書き込み禁止設定を解除して、再度保存してください。
	• メモリーカードの誤消去防止スイッチが［LOCK］になっていませんか？	➔ 誤消去防止スイッチを解除してください。
	• メモリーカードが一杯になっていませんか？	➔ 不要な画像を削除してください。(→34 ページ）または、充分なメモリー残量のあるメモリーカードに交換してください。
	• 内蔵メモリーが一杯になっていませんか？	➔ 不要な画像を削除してください。(→34 ページ）
	• フォルダーを作成せずにコンピューターから画像を保存していませんか？	➔ フォルダーを作成していない場合、保存できる画像ファイル数は最大 512 枚までです。さらに、ファイル名の長さや文字の種類によって、保存できる枚数が減少することがあります。コンピューターから画像を保存するときは、コンピューター上で内蔵メモリーにフォルダーを作成して、そのフォルダーに保存してください。
削除できない。	• メモリーカードが書き込み禁止になっていませんか？	➔ お手持ちの機器で書き込み禁止設定を解除して、再度保存してください。
	• メモリーカードの誤消去防止スイッチが［LOCK］になっていませんか？	➔ 誤消去防止スイッチを解除してください。
	• " メモリースティック -ROM" ですか？	➔ " メモリースティック -ROM" については、画像の削除と初期化はできません。
	• プロテクトされた画像ではありませんか？	➔ 一枚表示画面から撮影情報表示を確認してください。(→27 ページ） マークのある画像は読み取り専用画像です。本機からは削除できません。
誤って消してしまった。	ー	➔ 1 度削除したファイルは元に戻せません。

本体

症状	チェック項目	対処方法
何も反応しない。	ー	➔ 背面のリセットスイッチを細い物で押してください。(→11 ページ） ➔ 電源を一度切り、再度入れなおしてください。(→18 ページ）

リモコン

症状	チェック項目	対処方法
何も反応しない	• 電池は入っていますか？	➔ 電池を交換してください。（→13 ページ） ➔ 電池が入っていません。（→13 ページ） ➔ 電池が正しく入っていません。（→13 ページ）
	ー	➔ リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて操作してください。（→13 ページ） ➔ 本体リモコン受光部の近くには物を置かないでください。
	• 保護シートが入っていませんか？	➔ 保護シートを引き抜いてください。（→13 ページ）

使用上のご注意

設置上のご注意

- 水平な場所に置いてください。
- ぶつけたり、落としたりしないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  – 不安定なところ
  – ほこりの多いところ
  – 極端に寒いところや暑いところ
  – 振動の多いところ
  – 湿気の多いところ
  – 直射日光の当たるところ

AC アダプターについてのご注意

- 電源コンセントの形状は各国、各地によって異なりますのでお出かけ前にご確認ください。本機を海外旅行者用の電子式変圧器（トラベルコンバーター）に接続しないでください。発熱や故障の原因になります。
- 付属以外の AC アダプターを使用しないでください。

結露について

結露とは、寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部に水滴がつくことです。
この状態で本機を使用すると、正常に動かず、故障の原因となります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。

引っ越しなどで輸送する場合は

輸送する場合は、メモリーカード、AC アダプター、ケーブル類を本体から取りはずし、本機が梱包されていた梱包材および梱包箱に入れてください。これらがない場合は、輸送中の衝撃に耐えるように梱包してください。

お手入れ

本機の汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかたくしぼってから、汚れをふきとってください。シンナーやベンジン、アルコールなどは、表面の仕上げをいためることがありますので、使用しないでください。

複製の禁止事項

他人の著作権の目的となっている絵画、写真、書籍などは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

本機を廃棄するときのご注意

本機で [内蔵メモリーの初期化] を行っても、内蔵メモリー内のデータは完全に消去されないことがあります。
本機を廃棄するときは、本機を物理的に破壊することをおすすめします。

メモリーカードについて

“ メモリースティック ”

本機でお使いになれる “ メモリースティック ”

本機では以下の“メモリースティック”をご使用になれます。[*1]

“ メモリースティック ” の種類	表示	削除・保存
“ メモリースティック ”[*2]（マジックゲート非対応）	○	○
“ メモリースティック ”[*2]（マジックゲート対応）	○ [*5]	○ [*5]
“マジックゲートメモリースティック ”[*2]	○ [*5]	○ [*5]
“ メモリースティック PRO” [*2]	○ [*5]	○ [*5]
“ メモリースティック PRO-HG” [*2]	○ [*5*6]	○ [*5*6]
“ メモリースティック マイクロ ”[*3]（“M2”[*4]）	○ [*5]	○ [*5]

*1 本機は FAT32 に対応しています。16GB までのソニー製 “ メモリースティック ” で動作確認を行っています。ただし、すべての “ メモリースティック ” メディアの動作を保証するものではありません。

*2 本機には、スタンダード／デュオ サイズ対応スロットが搭載されています。“ メモリースティック デュオ ” アダプターなしで、標準サイズの “ メモリースティック ”、小型の “ メモリースティック デュオ ” のどちらでもご使用いただけます。

*3 “メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“ メモリースティック マイクロ ” を M2 アダプターに入れてからお使いください。

*4 “M2”は、“メモリースティック マイクロ”の略称です。本文では今後略称 “M2” を用いて記述します。

*5 著作権保護技術（“ マジックゲート ”）が必要なデータの読み込み、記録はできません。“ マジックゲート ” とは、ソニーが開発した、暗号化技術を使って著作権を保護する技術の総称です。

*6 本機は、8 ビットパラレルデータ転送には対応しておりません。

使用上のご注意

- 使用可能な“メモリースティック”についての最新情報は、ホームページ上の「“ メモリースティック ” 対応表」をご確認ください。（裏表紙）
- 複数の“メモリースティック”を同時に挿入しないでください。機器の破損の原因となる場合があります。
- “ メモリースティック マイクロ ” を本機でお使いの場合は、必ず “ メモリースティック マイクロ ” をM2 アダプターに入れてからお使いください。
- M2 アダプターに装着されていない状態で挿入されますと、“ メモリースティック マイクロ ” が取り出せなくなる可能性があります。
- デュオサイズの M2 アダプターに “ メモリースティック マイクロ ” を入れ、それをさらにメモリースティック デュオアダプターに入れて使用した場合、動作しない場合があります。
- “メモリースティック”を初期化するときは、ご使用になっているデジタルカメラで初期化してください。コンピューターでフォーマットした場合、画像が表示されないことがあります。

次のページにつづく

- フォーマットを実行するとプロテクトをかけてある画像ファイルもすべて削除されます。誤って大切なデータを削除することがないように、ご注意ください。
- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると保存、削除ができなくなります。
- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。また、ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部にはみ出さないように貼ってください。

SD メモリーカード

本機では下記をご使用になれます。

- SD メモリーカード *1
- miniSD カード、microSD カード（アダプターが必要です）*2
- SDHC メモリーカード *3
- MMC 規格メモリーカード *4

ただし、すべての SD メモリーカード、MMC 規格メモリーカードの動作を保証するものではありません。

*1 2GB までの SD メモリーカードで動作確認を行っています。
*2 市販のカードアダプタによっては、裏面中央部に端子が出ているものがあります。本機では、このようなタイプのアダプターは正しく動作しない場合があります。
*3 32GB までの SDHC メモリーカードで動作確認を行っています。
*4 2GB までの MMC 規格メモリーカードで動作確認を行っています。

使用上のご注意

- 著作権保護技術が必要なデータの読み込み、記録はできません。

xD-Picture Card

本機は、xD-Picture Card*5 をご使用になれます。ただし、すべての xD-Picture Card の動作を保証するものではありません。

*5 2GB までの xD-Picture Card で動作確認を行っています。

コンパクトフラッシュカード (DPF-D72 のみ)

DPF-D72 でのみ、下記をご使用になれます。

- CompactFlash Memory Card（Type I/Type II）または CF+Card（Type I/Type II）準拠のコンパクトフラッシュカード（*6）
- マイクロドライブ

また、市販のコンパクトフラッシュカードアダプター（*7）をお使いになることにより、スマートメディアをご使用になれます。

ただし、すべてのコンパクトフラッシュカードの動作を保証するものではありません。

*6 コンパクトフラッシュカードは、電源仕様が 3.3V あるいは、3.3V/5V のものをお使いください。5V 専用、または 3V 専用のタイプは、お使いになれません。対応以外のメモリーカードを無理にお使いになると、本機の故障の原因となります。32GB までのコンパクトフラッシュカードで動作確認を行っています。
*7 市販のコンパクトフラッシュカードアダプターをお使いの場合は、取り付け方法、使用方法については、アダプターの取扱説明書をご覧ください。アダプターによっては、メモリーカードのライトプロテクトをすると正しく動作しない場合があります。

カード使用上のご注意

- ご使用の際は、正しい挿入方向をご確認のうえご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となります。
- メモリカードを挿入するとき、無理な力をくわえて挿入をすると、メモリーカードまたは本機を破損する恐れがあります。
- データの読み込み、書き込み中、アクセス中に、カードを抜かないでください。または電源を切らないでください。データが消えたり壊れたりすることがあります。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- コンピューターで加工した画像は、再生できないことがあります。
- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  – 使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど）
  – 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所

主な仕様

■ 本体

液晶画面

液晶パネル：
7.0型、TFT駆動
総ドット数：
DPF-D72：1,152,000
（800×3（RGB）×480）ドット
DPF-A72：336,960
（480×3（RGB）×234）ドット

表示アスペクト比

DPF-A72/D72: 15:9

有効表示画面サイズ

DPF-A72: 6.6型
DPF-D72: 7.0型

液晶バックライト寿命

20,000時間
（バックライトの輝度が半減するまでの時間）

入出力端子

USB端子（TypeB、Hi-Speed USB）
“メモリースティック PRO”（スタンダード／デュオ）／SDメモリーカード/MMC/xD-Picture Cardスロット
コンパクトフラッシュカード／マイクロドライブスロット（DPF-D72のみ）

次のページにつづく

表示可能なファイルフォーマット

JPEG： DCF 2.0準拠、Exif 2.21準拠、JFIF *1

TIFF： Exif 2.21準拠

BMP*8： 1、4、8、16、24、32ビット Windows形式

RAW（簡易再生*2）：
SRF、SR2、ARW（2.0まで）

画像の形式によっては、対応できないことがあります。

最大再生画素数

8,000×6,000ドット*3

ファイルシステム

FAT12/16/32、
セクタサイズ 2048バイト以下

画像ファイル名

DCF形式、128文字 5階層以下

最大画像ファイル数

メモリーカード1枚につき4,999枚

内蔵メモリー容量 *4

DPF-D72：1GB
（保存ファイル数：約2,000枚*5）
DPF-A72：128 MB
（保存ファイル数：約250枚*5）

電源

DC IN端子入力、DC5V

消費電力

機種名	動作モード	AC アダプター含む
D72	最大負荷時	10.7 W
	通常モード*	9.0 W
A72	最大負荷時	7.6 W
	通常モード*	7.5 W

＊ 通常モードの定義は "出荷時設定にて内蔵メモリー内に保存したデータをスライドショーしている状態でメモリーカードを取り付けていない状態" です。

動作温度

5℃～35℃

外形寸法

（スタンドセット時）
DPF-A72/D72：
約212 x 142 x 115.2 mm
（幅／高さ／奥行き）
（壁掛け時）
DPF-A72/D72：
約212 x 142 x 39.3 mm
（幅／高さ／奥行き）
質量
DPF-D72：約495g
DPF-A72：約425g
（ACアダプター含まず）

同梱品

「同梱品を確認する」（9ページ）参照

■ 同梱 AC アダプター

定格入力

AC100V - 240V、50/60Hz
0.3A

定格出力

DC 5V、2 A

外形寸法

約45×72×50mm
（幅／高さ／奥行き）
（最大突起部のぞく）

質量

約110 g（本体のみ）

その他の仕様については、AC アダプターのラベルをご覧ください。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

*1 4：4：4、4：2：2、4：2：0 形式のベースライン JPEG

*2 RAW ファイルサムネイルがそのまま表示されます。

*3 縦、横とも、17 ドット以上ある必要があります。縦横の比が 20:1 以上ある画像は正しく表示できない場合があります。

また、20:1 以下でもサムネール表示や、スライドショーで表示されない場合があります。

*4 容量は、1MB を 100 万バイトで計算した場合の数値です。また、管理用ファイル、アプリケーションなどをふくむため、実際に使用できる容量は減少します。ご使用頂けるユーザー容量は、DPF-D72 の場合は約 942 MB、DPF-A72 の場合は 106 MB です。

*5 保存枚数は、アルバムサイズで、保存を行った際の目安です。枚数は、被写体および撮影条件によって異なります。アルバムサイズで保存をした場合、314 万画素を超える画像は、78 万画素相当から 314 万画素相当の画像に自動的にリサイズされます。リサイズサイズを選択することはできません。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項に記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう 1 度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、またはソニーの相談窓口へご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理させていただきます。

次のページにつづく

部品の保有期間について

当社では、デジタルフォトフレームの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーの相談窓口にご相談ください。ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：DPF-D72/DPF-A72
- 故障の状態：できるだけくわしく
- お買い上げ年月日
- コンピューターをご使用の場合はコンピューターの環境：
  - ご使用コンピューターの機種名
  - メモリー容量
  - ハードディスクなどの容量







下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

➡ 2 ページもあわせてお読みください。

分解や改造をしない

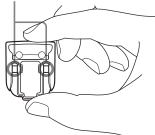


火災や感電の原因となります。内部点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

電源プラグを単体でコンセントに差さない



- 電極と電極の隙間に金属片が入ってショートしたり、コンセントから抜くときに、感電の原因になることがあります。
- 電源プラグは "PUSH" 部を押すことで､AC アダプター本体から脱着可能な構造となっていますが、お使いになる場合にははずす必要はありません。
  必ず装着した状態でお使いください。



内部に水や異物（金属物や燃えやすい物など）を入れない



水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜き、接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

機器本体や付属品は、幼児の手の届かない場所におく



内部に手を入れると、挟まれてけがをしたり、温度の高い部分にさわってやけどをすることがあります。また、本体小物部品、電源の保護シート、“ メモリースティック ” などのメモリーカードや、デュオサイズの M2 アダプターなどの変換アダプターを飲み込む恐れがあります。幼児の手の届かない場所に置き、お子様が触らぬようご注意ください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

付属の AC アダプター以外は使用しない



火災や感電の原因となることがあります。



下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差したり、使用しないでください。感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所では使わない

火災や感電の原因となります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。



禁止

コード類は正しく配置する

DC コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続、配置してください。



指示

通電中の本機や AC アダプターに長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



接触禁止

移動させるとき、長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

本機やAC アダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



禁止

本体内部の部品をさわらない

機構部品により、けがの原因となることがあります。
また、高温になった部品にさわると、火傷の原因となることがあります。
ケースが破損しても本体内部の部品には触れないでください。
高電圧部品により感電することがあります。



接触禁止

スタンドを持って本体を持ち上げない

スタンドがゆるんで落下し、故障や障害、又は怪我の原因になることがあります。
持ち運びの際は、落とさないよう本体をしっかりお持ちください。



指示



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

本体の上に乗らない、重いものを載せない、ぶら下がらない

落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。


禁止

液晶画面に衝撃を与えない

液晶画面に強い衝撃を与えると割れて、怪我の原因となることがあります。


禁止

お手入れの際は、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。


禁止

コネクターはきちんと接続する

- コネクターの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクターはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。


禁止

DC コードや接続ケーブルを AC アダプターに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。


禁止

雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない

本機や電源プラグなどに触れると感電の原因となります。


接触禁止

デバイスの取り付け、または取りはずすときは本体を持つ

メモリーカード、コネクターなどを本機に取り付けたり、取りはずすときは、本体に手を添えて行ってください。
本機が落ちると、けがの原因となることがあります。


指示

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは



ぬれ手禁止

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることがあります。



指示

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く



禁止

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。
万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない



禁止

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

指定以外の電池を使わない



禁止

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
指定の電池をお使いください。電池の品番を確かめ、お使いください。

＋と－の向きを正しく入れる



指示

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す



指示

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

リモコンの電池ホルダーを開けて使用しない



指示

リモコンの電池ホルダーを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。
指定の電池を使用し、電池ホルダーを閉めて使用してください。

索引

アルファベット順

五十音順

■ 困ったときは（サポートのご案内）

ホームページで調べる



デジタルフォトフレームの商品や最新サポート情報（製品に関するQ&A、OS対応情報など）はこちらのホームページから
http://www.sony.co.jp/DPF/

メモリースティック対応表

使用可能な"メモリースティック"を確認できます。
http://www.sony.co.jp/mstaiou/

電話で問い合わせる（おかけ間違いにご注意ください。）



よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「403」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389 **受付時間** 月〜金:9:00〜20:00 土・日・祝日:9:00〜17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

■ カスタマー登録のご案内



カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。詳しくは、同封のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/dpp-regi/

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南 1-7-1

この説明書は VOC（揮発性有機化合物）
ゼロ植物油型インキを使用しています。

http://www.sony.co.jp/　Printed in China